

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-14

4-I-14

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	節 I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	14 トイレの洋式化	事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	関連団体	佐渡市建設課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	【事業目的】	○トイレの洋式化により外国人観光客の受入環境整備を図る。	
	【事業内容】	○市内全域において主要な既設公衆トイレの洋式化整備について、計画的に実施する。 (改修既設公衆トイレ数: 8器) ○民間施設のトイレについて洋式化を推進する。	
30 事業計画と実績	【30年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ●佐渡市で所管するトイレ施設について統廃合も含めた整備方針の見直を検討する。 ●県所有トイレの洋式化を要望する。 ●民間施設のトイレ洋式化を推進するため補助金活用などの支援を行う。 	
	【30年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレ統廃合を含めた整備方針について、関係課にてトイレ・公園の遊具などの整理・統合PT会議を立ち上げ検討会を開催した。(8/23) ●県所有トイレについて、H30.8月 県担当者に現場状況を確認していただいた。要望継続中である。 ◇トイレ洋式化整備計画による13施設に加え2施設 合計15施設が洋式化できた。 	
課題・今後の取組	【課題】	■民間施設のトイレ洋式化を推進するための支援方法の検討	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■民間施設のトイレ洋式化推進方法について、トイレ・公園の遊具などの整理・統合PT会議で検討していく。 ◇トイレ・公園の遊具などの整理・統合PT会議の立ち上げにより、島内全体のトイレや相川まち中のトイレについて総合的に検討し方針を進めていく。 	
事業評価	【事業の達成度】	当初計画どおりに事業実施できたことからBとする。	
	【事業実施の効果】	[a ・ (b) ・ c]	
	【総合評価】	[A ・ (B) ・ C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。